

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	子育て未来課
会議名 (審議会等名)	令和7年度第1回嬉野市子ども・子育て会議		
開催日時	令和7年8月7日（木） 14：00～15：40		
開催場所	嬉野市役所 塩田庁舎 3階 3－2会議室		
傍聴の可否	○可 ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	1人
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員	久野博美委員、山下広子委員、大坪桃子委員、小佐々太郎委員、 秋月久子委員、大塚堅志委員、藤瀬広樹委員、織田心海委員、 中原奈美委員、小池和彦委員、尾島智子委員(代理:岸川孝子副課長)	
	事務局	子育て未来課課長、同副課長2名、同主任2名	
	その他	なし	
会議の議題	1. 開会 2. 市長挨拶 3. 委嘱状の交付 4. 会長、副会長選任 会長に小佐々委員、副会長に藤瀬委員を選任 5. 委員の自己紹介 6. 協議事項 (1) 令和6年度地域子ども・子育て支援事業の実績について (2) 「嬉野市こども計画」について（令和7年3月策定） (3) 乳児等通園支援事業の意見聴取 7. 閉会		
配布資料	・ 令和7年度第1回嬉野市子ども・子育て会議 次第 ・ 嬉野市子ども・子育て会議委員名簿 ・ 協議資料 【資料1】 令和6年度 地域子ども・子育て支援事業の実績について 【資料2】 嬉野市こども計画（令和7年度～11年度）概要 【資料3】 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	子育て未来課
議 題	6. 協議事項 (1) 令和6年度地域子ども・子育て支援事業の実績について (2) 「嬉野市こども計画」について(令和7年3月策定) (3) 乳児等通園支援事業の意見聴取		
内 容	(1) 令和6年度地域子ども・子育て支援事業の実績について (2) 「嬉野市こども計画」について (3) 乳児等通園支援事業の意見聴取 以上について、事務局より説明、質疑応答		
審議経過	会長	まずは、(1)「令和6年度地域子ども・子育て支援事業の実績」について、事務局から説明を。	
	事務局	(「令和6年度地域子ども・子育て支援事業の実績」について事務局より説明)	
	会長	事務局より説明があつたが、質問や意見はないか。	
	委員	知り合いから「ファミリーサポートが利用しづらい」という意見があつた。急に使いたいが、事前に登録しないとイケなかったりするところが使いづらいので、急に使えたら嬉しいという声があつた。あと、病児病後児保育について、武雄市が1日1,000円で利用できるが、嬉野市は2,000円なので高いのではないかという意見も聞いた。	
	事務局	病児病後児保育事業の利用料に関してのご意見の方は承知した。ファミリーサポートセンター事業の「急に使いたいときに使いにくい」というところの件に関しては確かに、そういう気持ちがあられるのも無理もないことは承知している。しかし、日常の状況も知らない子を預かるのはサポーターには不安もあり、お子さんの状況を一度は聞いてからお預かりをしたいというところで、急にというのは厳しいというのもご理解いただきたい。	
	委員	量の見込み対して実績が多い事業があるが、受け入れ態勢は大丈夫なのか。	

事務局	令和 6 年度の量の見込みは令和元年度に立てたものであり、そこから何年も経っているので確かに見込みと実績が乖離してしまっているものがある。 しかし、これまでもこの子ども・子育て会議の中で毎年実績を確認しながら、その後の受け入れ態勢を整えている。今後は今年策定の新しいこども計画で近年の数字をもとに新たに量の見込みの計画も立てているため、これにより量を確保していきたい。
委員	事業によっては、他市の利用量と比べて嬉野市はかなり少ないものがあるようだが、需要の掘り起こしが必要なのではないか。
事務局	必要な方に届くようにさらなる利用の促進を行っていきたい。
会長	他に意見等はないか。
委員一同	意見なし。
会長	それでは、協議事項（２）「嬉野市こども計画」につきまして事務局から説明を。
事務局	（「嬉野市こども計画」について事務局より説明）
会長	事務局より説明があつたが、質問や意見はないか。
委員	この冊子の「教育保育人材の確保」についてであるが、何か具体的に考えられているものがあれば教えていただきたい。
事務局	人材確保等については、現在嬉野市での単独での事業としてはまだそこまでは検討していない。 国の補助事業等を使いながら、人材確保等をしていく形で実施している状況である。
委員	最低賃金も上がっており、どの業界でも人材確保は大変だと思うが、嬉野市の事業で補助などあれば保育士の確保がしやすくなるのではないかと思うので、検討の方お願いしたい。
会長	他に意見等はないか。
委員	「困難への支援」というところで、今までの話を聞いて発達障害のところに対するフォローが少ない、というのを感じているが、その

		あたりはどうか。
	事務局	確かに制度があってもそれを分からなくて使うことができないとか、周知がされていないというのは確かに今までもあり、十分とは言えないというのものもあるかと思う。 しかし、今年度から、こども家庭センターという母子保健とまたその子の子育て支援を、円滑に繋ぐことができるような体制というのも作ったところである。 またそうした障害をお持ちのお子さんに対し、様々な支援が必要なところに届くよう、切れ目ない支援・制度の利用とかいうのを関係担当課と連携をとって、進めていくのが必要だと感じているところであり、同時に周知も図っていきたい。
	委員	近年、出生数が減少しているという話であったが、近隣の産婦人科が次々と産科を辞められており、近くで出産できる医療機関は嬉野医療センターがあるが敷居が高い。このような現状をどのように感じているか。
	事務局	確かに個人病院は出生数が減少していることもあり、産科を辞めて婦人科のみに切り替えているのは承知している。市としても医療センターのほかは出産施設が近くにはないというのは困った現状である。しかし医療センターでは一般の方も受け入れているので、そちらに受診していただきたい。一番近くではあるし何かあった時は安心できるので。
	会長	他に意見等はないか。
	委員一同	意見なし。
	会長	それでは、協議事項（３）乳児等通園支援事業の意見聴取、につきまして事務局から説明を。
	事務局	（「乳児等通園支援事業の意見聴取」について事務局より説明）
	会長	事務局より説明があつたが、質問や意見はないか。
	委員	この制度は保護者の方もアドバイスを受けられると書いてあるが、保護者の方はこの時間、園にいないといけないのか。
	事務局	親子通園も可とはなっているが、それを必ず求めるものではない。

委員	親がアドバイスを受けたかったら受けられるのか。
事務局	それは可能であると思われる。各園で対応をしていただける。
委員	一時預かりが利用のほしい 2 週間ぐらい前に申請をしなければならなかったが、その誰でも通園もあらかじめ、予約をしないと先生方の確保ができなかったりするのか。
事務局	こちらの一時預かりと乳児等通園制度の目的が少し違い、原則、一時預かりについては、急な冠婚葬祭だったりお仕事だったりという親御さんの都合による、保育ができないときにご利用いただくもので、乳児等通園制度については子どもさんの成長のために実施をするものとなっている。そして目的としては定期的な利用が主となっているので、実際に一般型というものについては、原則専用職員がおり受け入れが可能だと思われる。 余裕活用型であれば、現職員で実施する形になり、なおかつ定員の空きがあった状態ということになるので、そちらについては、園の方の状況次第で結構変わってくる可能性は高いと思っている。
委員	保育所に普段通ってない子が対象ということだが、今 3 歳から保育料が無料で、0 歳から 2 歳が無料になることはあるのか。
事務局	国ではそのような議論はあっていないかと思うが、一部市町村…全国で見ると、保育料の改定を行って 2 歳児を無償化したり、独自で検討を実施されているところもある。嬉野市もこの会議とは別の会議の中で検討しているところである。
委員	食事の提供でアレルギーの対応もあるのか。
事務局	基本的には、ほとんどの園でアレルギー対応をされているので、事前に預ける子の様子などについて面談されるなどにアレルギーについても必ず確認をされるはずである。
委員	月 10 時間が限度というのは多分国の制度だと思うが、数日分でしかない。利用時間数が段階的に伸びていく、みたいな可能性はあるのか。
事務局	今年度は乳児等通園制度を実施するが、来年 8 年度については、本格実施という形になり少しまた制度が変わる。

	会長 委員一同	それに向けて国でも検討をされており、時間については市町村からも、10 時間については「少なすぎる」という意見も出ているところなので、国の方の検討会にて時間が変わる可能性はあると思われる。 他に意見や質問等ないか。 意見なし。
その他	事務局から、今後の会議のスケジュールについて説明（次回は 2 月頃に開催予定）	